※令和４年度以降入学生用

学校番号	208

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	(学)情報応用演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	30 時間でマスターOffice2021（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業ではコンピュータを活用して様々な情報処理を学習します。
・課題や問題を解決するには、コンピュータの基本操作ができていないと授業に臨むことが難しいです。受け身で授業を聞くだけでは発展していきません。
・情報応用演習は授業を受けた後に実生活で活用できるかどうかがポイントになります。学習後に日々の様々なシーンで学習したことを意識できるようにしてください。

2　学習の到達目標

(1) 応用的なコンピュータの操作について理解を深め技能を習得する。
(2) 社会での活用事例を見ながら様々な事象に対して効果的に活用する力を養う。
(3) 情報社会に主体的に参画する態度を養い、情報や情報技術を活用し課題解決しようとする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会での情報表現の方法を理解し、技能を身に付けるとともに、情報社会における情報伝達について深く考察することができる。	既存の情報表現を用いて、いかに効果的に相手に伝わりやすく情報を表現できるか、自ら考え、問題の解決に向けて行動することできる。	情報社会での情報表現の移り変わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	文書作成の実践	・文字入力の基礎を理解する。 ・文書作成の仕方を身に付ける。 ・ポスターデザインにおける適切な情報の仕方を理解する。 ・状況に応じた情報表現の仕方を自ら提案する。	a:文字入力・修正といった基本的な技術を用いることができる。 b:目的とする文書を事例を参考にして作成することができる。 c:他者への伝わり方ついて考え、自らの情報表現について考察、改善しようとしている。	発問評価 実習課題	確認課題 (演習)	振り返りレポート 取組姿勢 パフォーマンス課題
	集計処理	・表計算における集計処理の基礎を理解する。 ・表計算における集計処理の応用的な使い方を理解する。 ・具体的な状況を想定し、自ら集計処理の仕方を考える。	a:表計算における集計処理の基本的な技術をもちいることができる。 b:具体的な状況に合わせて集計処理を工夫することができる。 c:１つのパターンではなく処理の仕方を見直し、改善することによって集計処理を合理化することができる。	発問評価 実習課題	確認課題 (演習)	振り返りレポート 取組姿勢 パフォーマンス課題
2	情報発信	・他者に情報が伝わるための情報デザインの考え方を理解する。 ・様々な情報表現について理解し、課題解決の方法について考える。	a:プレゼンテーション、ポスターデザイン、チラシ等の情報の伝え方を理解できている。 b: デザインする媒体によって表現の仕方を工夫することができる。 c: 他者への伝わり方ついて考え、自らの情報表現について考察、改善しようとしている。	発問評価 実習課題	確認課題 (演習)	振り返りレポート 取組姿勢 パフォーマンス課題
3	情報デザインの工夫	・ロゴデザイン・ピクトグラム・ピクセルアート、家紋、伝統文様等のミニマルなデザインからペットボトル、パッケージ等の商業デザインを鑑賞し、人に伝わるデザインを様々な視点で考察する。 ・自ら人に伝わりやすいデザインを深く考え作成する。	a: 既存のデザインの評価とそのデザインの使われる場合を理解することができている。 b: 既存のデザインを参考にし、自分のデザインに落とし込むことができる。 c: 他者への伝わり方ついて考え、自らの情報表現について考察、改善しようとしている。	発問評価 実習課題	確認課題 (演習)	振り返りレポート 取組姿勢 パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度